

# 台湾代表パラ柔道チームえひめキャンプ 実施報告書

(2019.10.27～11.3)



2020年4月

中華台北代表チームえひめキャンプ実行委員会

## 目 次

1. 合宿参加メンバー	.....	1
2. 合宿スケジュール	.....	2
3. 歓迎行事	.....	3
4. トレーニング	.....	4
5. 住民交流事業	.....	6
6. 観光	.....	7
7. 離県	.....	8
8. 総括	.....	8

## 1. 合宿参加メンバー 《パラ3選手、ジュニア2選手、コーチ等7名》

役職	名前	読み	写真	性別	年齢	備考
パラ選手	李凱琳	LEE, KAI-LIN リー・カイリン		女	27	48 kg級 財大会出場
パラ選手	林巧媛	LIN, CHIAO-YUAN リン・チャオユエン		女	19	52 kg級
パラ選手	張少豪	CHANG, SHAO-HAO チャン・シャオハオ		男	22	66 kg級
ジュニア選手	沈奕君	SHEN, YI-CHUN シェン・イーチュン		女	16	44 kg級
ジュニア選手	施劉俐伶	SHIH, LIU LI-LING シー・リョウリーリン		女	18	70 kg級
特別貴賓	陳祖明	CHAN, JO-MING JAYCEE チャン・ジョーミン ジェシー		男	37	撮影用務 10/29 離松
パラ総会 執行秘書	林函穎	LIN, HAN-YING リン・ハンイン		女	30	撮影用務 10/29 離松
パラ総会 訓練専員	吳意中	WU, I-CHUNG ウー・イーチュン		男	35	
パラコーチ	侯碧燕	HO, PI-YEN ホウ・ピーイエン		女	50	
パラコーチ	吳嘉倫	WU, CHIA-LUAN ウー・ジャーラン		男	34	
ジュニアコーチ	沈家成	SHEN, CHIA-CHEN シェン・ジャーチエン		男	46	
トレーナー	蘇玫姜	SU, WEN-CHIANG スー・ウェンジャン		女	45	

The schedule of training camp in Ehime 2019 (PLAN)

Oct. 19, 2019

2. 合宿スケジュール 《期間:2019年10月27日~11月3日(7泊8日)》

		27 Oct. - 3 Nov. 2019							
		10/27 (日)	10/28 (月)	10/29 (火)	10/30 (水)	10/31 (木)	11/1 (金)	11/2 (土)	11/3 (日)
		DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6	DAY7	DAY8
6:00									
7:00									
8:00									
9:00									
10:00									
11:00									
12:00									
13:00									
14:00									
15:00									
16:00									
17:00									
18:00									
19:00									
20:00									
21:00									
22:00									
23:00									

### 3. 歓迎行事

#### (1) 歓迎セレモニー

10月27日朝、台湾桃園空港から愛媛松山空港への直行便に搭乗した選手団は、昼頃、松山に到着。空港では、県スポーツ局長と松山市総合政策部副部長が歓迎のあいさつを行い、新田高校女子柔道部主将から花束を贈呈した



#### (2) 県庁・松山市役所表敬訪問

10月28日午前中、選手団は県庁を表敬訪問し、知事と面会。中華台北パラリンピック委員会執行秘書のリン・ハンインさんが合宿の抱負を述べた。その後、続けて松山市役所を表敬訪問し、野志市長に面会した。



#### (3) 歓迎レセプション

10月27日夜、松山東急REIホテルにて、歓迎レセプションを開催した。県の八矢副知事、松山市の大町参与が歓迎のあいさつを述べたほか、選手たちからは、合宿の抱負と東京パラリンピックに向けた意気込みが語られた。また、(一社)愛媛県柔道協会の河野会長や本県在住のパラリンピアンである廣瀬悠・順子夫妻をはじめとした柔道関係者もお招きしており、選手らはリラックスした表情で交流を深めていた。

## 4. トレーニング

### (1) 県武道館での合同練習

県武道館を練習会場として使用した10月28日の夕方と11月2日の午前中は、県内の強豪高校・大学の柔道部員の参加を得て、乱取りなどの実戦形式をメインとした練習を行った。

#### ◇ 10月28日(月) 主道場

(参加校) 新田高校、松山聖陵高校、松山大学、松山東雲女子大学



#### ◇ 11月2日(土) 柔道場

(参加校) 新田高校、松山聖陵高校、松山東雲女子大学



## (2) 県内の強豪高校・大学への訪問練習

県武道館以外での練習は、合同練習参加校の部活動を訪問する形で実施した。学校ごとに練習メニューの特色も違い、充実したトレーニングを行うことができた。また台湾のコーチ陣にとっても日本の部活動における練習方法は参考になったようで、日本の指導者に練習のポイントや取り組み方を質問する様子が見られた。

### ◇ 10月29日(火) 新田高校



### ◇ 10月30日(水) 松山聖陵高校



### ◇ 10月31日(木)、11月1日(金) 松山東雲女子大学



## 5. 交流事業

### (1) 学校訪問(松山盲学校)

選手らと同じく視覚障がいを持った生徒が在籍する松山盲学校を訪問し、交流を行った。台湾の選手たちが同校の生徒らに技のかけ方などを教える柔道体験を行った後、同校が普段の授業で取り組んでいるサウンドテーブルテニスを行い、生徒が台湾の選手・コーチにコツを教えるなどして交流を深めた。



### (2) 学校訪問(松山西中学校)

10月31日、選手団が松山西中学校を訪問し、全校集会と体育の授業(柔道)に参加した。全校集会では、台湾の選手たちへの質問を行う時間があり、生徒たちは、東京パラリンピックに向けた意気込みや選手たちが柔道を始めた年齢やきっかけなどを尋ねていた。柔道の授業では、受け身などの基礎練習に生徒と台湾の選手が一緒に取り組んだほか、チャン・シャオハオ選手と松山西中学校柔道部主将との模擬試合などが行われ、大いに盛り上がった。



### (3) 食文化体験交流

11月1日、余土公民館において大洲農業高校の生徒による食文化体験交流会が行われた。交流会では、高校生の指導の下、選手・コーチらが蕎麦打ちやおにぎりづくりに取り組んだ。調理後には蕎麦・おにぎりと合わせて農業高校の生徒らが用意した愛媛の郷土料理「いもたき」も振る舞われ、選手団から大変好評であった。





#### (4) 地元柔道会との交流

離県日前夜、松山東警察署柔道場にて勝山柔道会の練習に参加した。勝山柔道会には、小さい子供から大人まで幅広い年代の方が所属しており、選手たちは柔道会の大人に交じって、子供たちに技のかけ方のコツを教えるなど交流を楽しんだ。



## 6. 観光

### (1) 道後散策

10月27日、夜に行われたレセプションまでの空き時間で道後周辺を散策した。選手たちは、商店街のお土産店や駅前のからくり時計を見物し、非常に楽しんだ様子であった。



### (2) 松山城

10月28日には、夕方の練習前に松山城を訪れた。天守閣を観覧して日本の文化に親しんだのち、昼食は、愛媛の郷土料理である鯛めしを堪能した。



## 7. 離県

11月3日朝、選手団は無事合宿を終え、松山空港からの直行便で帰国した。

選手やコーチは、愛媛のサポートへの感謝や、また愛媛を訪れたいとの言葉を口に、愛媛の関係者からは、今後の活躍を期待する旨の激励の言葉を送った。



## 8. 総括

今回の合宿では、県武道館での合同練習や市内の高校・大学の柔道部の練習への参加という形で練習機会を確保したが、選手やコーチから「様々な相手と練習に取り組むことができ、良い経験になった」と大変好評であった。

また、合同練習を受け入れた学校関係者からも「生徒らにとって良い刺激となった」と前向きに評価していただいたほか、各校とも練習後に記念の写真撮影やプレゼント交換が行われるなど、一緒に練習を行うことで自然と交流が深まった様子であった。

実行委員会としては、県柔道協会や県内の高校・大学、多くの関係者と連携し、選手たちが充実したトレーニングができるよう、練習環境整備や練習パートナーの確保に力を入れるとともに、宿泊から日々の食事まで生活面を含めた全面的なサポートを行った。

また、中学校訪問、盲学校訪問、農業高校のおもてなし交流など、住民との交流事業も練習に支障のない範囲で多く取り入れ、選手団も積極的に参加いただき、有意義な交流を行うことができた。

今回の交流は、競技力向上を目的としたスポーツ交流にとどまらず、東京パラリンピックに向け、県内の共生社会実現を目指していく上でも、大変実りの多い合宿となった。